におけるがいをとするののに

（）

　この（「」という。）は、をとするののに（。「」という。）のに、また、をとするののに（）に、にするに、がにするためになをものとする。

（）

　において「」とは、、、、にするであって、（）にするのにするのをいう。

（なの）

　は、ののとおり、そのはをに、がい（がい、がい、がい（がいを。）のののがいをいう。。）をとして、がい（がいによりにはになをにあるもの。。）でないとなをすることにより、がいのをしてはならない。これに、は、ににするものとする。

（の）

　は、ののとおり、そのはをに、がいからにのをとしているののがあったにおいて、そのにがでないときは、がいのをすることとならないよう、がいの、がいのに、ののについてかつな（「」という。）のをしなければならない。これに、は、ににするものとする。

（の）

　のうち、をするにある（「」という。）は、にに、がいをとするのをするため、のにをしなければならない。

(1) のをにより、がいをとするのに、そのするのをし、がいをとするのにをこと。

　(2) がいからな、のに、のがあったは、にをすること。

　(3) のがされた、するに、のをにようすること。

２　は、がいをとするにがには、かつにしなければならない。

（の）

　によるがいをとするにがいそののからのににするためのをがいに。

２　をは、、、にするとともに、のほか、、ファックス、メールに、がいがとコミュニケーションをにとなるなをなでしてするものとする。

３　のには、のプライバシーにしつつでを、のにおいてすることとする。

４　のは、に、をようものとする。

（・）

　は、がいをとするののをため、にせられたのもまえ、に、な・をものとする。

２　は、にとなったに、がいをとするのになについてさせるために、また、にとなったに、がいをとするのにについてさせるために、それぞれ、をする。

３　は、がいのやなにをようものとする。

　このは、からする。

　におけるがいをとするののにに

　なのな

　は、がいに、ななく、がいをとして、・サービスやのをするはに・などをする、がいでないにはをことなどにより、がいのをすることをしている。

ただし、がいののをし、はするためになのは、なではない。したがって、がいをがいでないとする（いわゆる）、にされたがいにのによるがいでないとのや、をするためになで、プライバシーにしつつがいにがいのをすることは、なには。

このように、なとは、ななく、がいを、となるはについて、にするががいでないよりにことであるにするがある。

　なのの

なにするのは、がいに、がいをとして、・サービスやのをするなどのがになのにものであり、そのにとである。なにするかかについては、なをせずになをするなどしてのをことなく、のごとに、がい、の（：の、の、の）はの・・ののに、やに・にすることがである。

は、ながあるとしたには、がいにそのをし、をようものとする。

　なの

なにはのとおりである。なお、でとおり、なにするかかについては、のごとにされることとなる。また、にされているについては、ながしないことをとしていること、さらに、それらはあくまでもであり、されているだけにものではないことにするがある。

（なに）

○がいをにをする。

　○がいをにのをにする。

　○がいをにの、の、パンフレットのを。

　○がいをに、シンポジウムへのを。

　○・の、にではないにもかかわらず、がいをに、のにのをなどのを、にがないにもかかわらず、のをする。

○がいのをする。

　のな

　１　のに（「」という。）において、「」は、「がのとのをとしてのをし、はすることをするためのかつなであって、のにおいてとされるものであり、かつ、をはのをもの」とされている。

は、におけるのを、に、そのはをに、のにおいて、がいからにのをとしているののがあったにおいて、そのにがでないときは、がいのをすることとならないよう、ののについて、をことをいる。は、がいがは、がいのみにするものではなく、におけるなとことによってずるものとのいわゆる「モデル」のをものであり、がいのをすることとならないよう、がいがのにおいてとしているをするためのかつなであり、そのにがでないものである。

は、はの・・に、とされるでのにするものにこと、がいでないとのにおいてののを受けるためのものであること、はの・・のなにはことにするがある。

　２　は、がいのやのがやに、かつのものであり、がいがにいるを、ののためのについて、「　なのな」にをし、のも、のによるを、かつなで、にがなされるものである。さらに、のは、の、のにものである。のには、がいの、、にするものとする。

なお、をとするがいが、がいとのがにわたるには、そののとはに、するのをうことにより、・なコストの・につながるがあることもしておくがある。

　３　のには、において、のにをとしているにあることを（を。）のほか、、、、のやサインによる、によるなど、がいがとコミュニケーションをにな（をものを。）により。

　　　また、がいからののみでなく、がいやがい（がいを。）によりのがなには、がいの、・、、コミュニケーションをするがをしてのも。

なお、のがながいが、、・、をいないなど、のがないであっても、がいがのをとしていることがであるには、のに、がいにとをするためにをなど、なにものとする。

４　は、がいのをしてにの、の、アクセシビリティのののをとして、のがいに、そのににされるである。したがって、におけるののにより、のはこととなる。また、がいのがすることもあるため、に、がいとのがにわたるには、するについて、、をことがである。

５　はのとしてするをにするは、されるのにがずることによりがいがをことのないよう、のに、をのについてようことが。

５　なのな

　なについては、なをせずになをするなどしてのをことなく、のごとに、のをし、やに・にすることがである。は、なにとしたは、がいにそのをし、をようものとする。

　○はへのの（はの、、をかか）

　○の（・、・の）

　○・の

６　の

　４でとおり、は、やに、かつのものであることから、がいとのをがある。

なお、としては、のようなものがあるが、５でながしないことをとしていること、また、これらはあくまでもであり、されているだけにものではないことにするがある。

（にへのの）

　○があるに、にキャスターのをする、スロープをなどする。

　○のにパンフレットを。パンフレットのを。

　○のまでののに、がいのにで、・・のについて、がいのをする。

　○がいのにより、にのがあるに、のをにする。

　○をがいからでののがあった、のがであったことから、がいにをし、のにをさせてのスペースを。

　○によりをことががいに、がを、バインダーのをする。

　○やがした、でのをことががいに、のボードを、しを。

（にのの）

　○、、、、のコミュニケーションを。

　○について、、でするに、のでページがことにしてする。

　○がいのあるにをする、ソフトにできるようデータ（テキスト）でする。

　○がながいに、カードをしてをする。

　○などで、でを、にメモをして。

　○のに、をのので、でしたりする。のがあるには、やといったを。

　○がながいに、や、などをににする。

　○がいからがあったに、ゆっくり、に、し、がされたことをしながらする。また、なじみのないは、は、はではなく・でするなどのをにメモを、にに。

　○のには、がのがいのにサポートを、なでのを。

　（ルール・のなの）

　○をことがながいに、ののをで、を。

　○にをいるに、ののをで、がいのがまでやをする。

　○スクリーン、、がよくように、スクリーンにをする。

　○をにへする。

　○のにおいて、がいのが、、がいとされていないをがいのとしてする。

　○との、のにいることによるにより、がある、がいにの、がいのやのにをする。

　○はをにおいて、にがことをに、がいのあるのをするのを。

 ： がいごとのとなの

「がいを、に」（あいサポーターテキスト）

【がい】

()

かのによりにがいがあることにより、ととがあります。

(の)

をとき、いるようにをかけましょう。また、をかけるときは、できるだけからかけましょう。

「こちら、あちら、これ、それ」などのや、「」などをを、「３０センチ」「で３」などにしましょう。

【・がい】

()

がいには、などがやがあります。また、のものとやでからこえなくなるがあります。

がいには、のやながな（、がいなど）と、のにはがなくだけがな（、がい、など）があります。

(の)

　のがでないとをことができないがあるので、そのの（、、、など）をしましょう。やのには、が。また、として、ファクシミリやメールのもです。

　があっても、あきらめず、をしましょう。

　があっても、ふりをせず、きちんとをしましょう。

【ろう】

()

　とのにがいがあることを「ろう」といいます。

　の「ろう」、の「」、の「ろう」、の「」という、４つのタイプがあります。

(の)

　やのが、にを、やなど、それぞれにあったコミュニケーションをとをしています。

　ときには、にそっとを。いろいろしてそのにあったコミュニケーションをましょう。

【】

()

　などによるのあるいはや、のにを、のなどによって・にあるマヒやにより、のやのがになります。

やでにをには、のやのをこともあります。

(の)

いそうなときは、さりげなくをかけ、どんながか。ですることがです。

【がい】

()

　からわかりにくく、からされにくいため、ストレスをにあります。

がいのあるだけでなく、がしているため、がし、を、いるなどのをがされます。

(の)

　がいのやはです。では、からされずいるがいのあるがいることをましょう。

　でをするは、がいのあるにとってにものであることから、ルールやマナーををしましょう。

【がい】

()

　のがいとのがいなどがしているがいです。でをことはであり、でを、にしたりしてをしています。

(の)

　いすやストレッチャーでのにがいりそうなときには、しているにをかけてみましょう。

【がい】

()

　にかのでながにしていないであることへのにがあることをいいます。

「ことばを」「する」「なことを」などにがかかります。また、のをすぐことや、とのにすることがながあります。

(の)

　コミュニケーションがうまくときは、ができるようにゆっくりなで。

のににできず、パニックがは、にしましょう。

【がい】

()

　ではなくのがいによるもので、どんなにがいがあるか、また、どのくらいのなのかはによってです。からされにくいがいです。

(の)

「なぜできないのか」でなく、どうするとよいかなを、でをに。

「こと」「のこと」やにすることがです。だけでなく、やもにをましょう。

【がい】

()

　やがい（そううつ）などのでは、や、や、ゆううつ、などが。

(の)

なは、のなストレスとなることがあります。じっくりとをかけてなど、のペースにがです。

【】

()

　とは、をために、している（アルコールやなど）やをやめようといてもやめられないをいいます。

(の)

は、ののやによるものではなく、にをいるであることをし、がしてをことができるよう、やがです。

【てんかん】

()

　ののがにしすぎるために、てんかんがです。のあるいはがしたり、だけがなどはです。

(の)

「てんかん」についてをしたうえで、を、どのようながかについて、からとおくことがです。

【がい】

()

　などのや、・などの、によりがをことによって、「」「」「」「」などのなのにがいがことがあり、これががいです。

　からはため、のがすることが、また、ものがいをにできないことがあります。

(の)

はメモをわたすなど、ゆっくり、、に。

やいらいらするがしてをようにしましょう。